2026 年度　サマープログラム・初修
追加募集要項

サマープログラム、「全学共通教養教育科目」として提供される留学関連科目です。サマープログラムは夏期休暇中、海外の研修校で集中的に語学研修を受けることによって、外国語の運用能力を総合的に高めるとともに、現地での生活体験を通してその国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指しています。プログラムは事前授業と研修校での集中的な語学研修によって構成されており、最終的な成績は、事前授業、現地での研修の評価、プログラム終了後のレポートや帰国報告・研修成果発表を総合して算出されます。

WEB 出願期間【1 月 22 日（木）～2 月 6 日（金）】　出願期間は短いぞ!!!

●〇追加募集〇●

2026 年度サマープログラム（初修）の追加募集を行います。

2026 年度は語学研修で語学力を磨き、更なるステップアップをしてみませんか？

12・1 月の出願期間を逃した方、これが最後のチャンスです!!ぜひご検討ください。

※研修期間とは別に、2026 年度春学期中に事前授業が実施されます。

科目名	研 修 校・研 修 地	研修期間【予定】	事前授業【予定】	担 当 者	募集人数【予定】	費用【予定】
サマープログラム・ ドイツ語 B　（3単位）	マルティン・ルター大学 （ドイツ）	2026 年 8 月 1 日 ～　8 月 28 日	火・6 （今出川）	髙木 繁光	約 20 名 （最少催行人数 1 名）	約 83 万円
サマープログラム・ フランス語　（4単位）	マリー・エ・ルイ・パストゥール大学 （旧：フランシュ＝コンテ大学） （フランス）	2026 年 7 月 31 日 ～　8 月 30 日	木・6 （京田辺）	Mouton Ghislain	約 25 名 （最少催行人数 5 名）	約 85 万円
サマープログラム・ 中国語 B　（3単位）	北京大学 （中国）	2026 年 8 月 2 日 ～　8 月 30 日	火・6 （今出川）	殷 晴	約 20 名 （最少催行人数 6 名）	約 59 万円
サマープログラム・ スペイン語　（4単位）	コスタリカ・ラテン大学 （コスタリカ）	2026 年 8 月 1 日 ～　8 月 31 日	火・6 （今出川）	清水 達也	約 20 名 （最少催行人数 8 名）	約 110 万円

※サマープログラム・英語の募集説明会は 4 月に開催予定です。日時・場所については 3 月上旬に周知予定です。

・サマープログラムは、「全学共通教養教育科目」として提供され、所定の単位が取得できます。科目区分は外国語教育科目となります。科目履修・単位の取扱い等の詳細については、各自で所属学部事務室に確認してください。

・昨今の世界情勢や円安などの影響により費用が高騰しています。今後も世界情勢や為替の変動および航空運賃の高騰、その他プログラム費用等の変動により 5～15 万円前後、費用に変更が生じる可能性があります。なお、本プログラム参加学生には、別途大学から奨学金が給付されます。

★問合せ先

科目履修・教学について

今出川校地：今出川キャンパス教務センター外国語教育科目窓口（良心館 1 階）
【TEL: 075-251-3325　E-mail：ji-kyoyo@mail.doshisha.ac.jp】
京田辺校地：京田辺キャンパス教務センター外国語教育科目窓口（嗣業館 1 階）
【TEL: 0774-65-7517】

海外渡航・費用について

今出川校地　国際センター国際課（扶桑館 1 階）
【TEL: 075-251-3260　E-mail：ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp】
京田辺校地　国際センター国際課（嗣業館 1 階）
【TEL: 0774-65-7066】

★個別相談

・プログラムに関する疑問や質問などがあれば、プログラム担当教員にメールで相談できる機会です。
・以下の表にてプログラム担当教員のメールアドレスを確認し、必ず大学のメールアドレスから相談を行ってください。
・相談は余裕をもって行い、メールの返信は迅速に対応してください。
・メールには①氏名・学生 ID、②相談内容を明記してください。

■個別相談期間
2026 年 1 月 22 日（木）9:00 ～ 2026 年 2 月 6 日（金）17:00
（スペイン語のみ 2 月 2 日（月）17:00 まで）

プログラム名	担当教員	メールアドレス
サマープログラム・ドイツ語 B （マルティン・ルター大学）	髙木 繁光	stakagi@mail.doshisha.ac.jp
サマープログラム・フランス語 （マリー・エ・ルイ・パストゥール大学）	Mouton Ghislain Philippe Gontrand	gmouton@mail.doshisha.ac.jp
サマープログラム・中国語 B （北京大学）	殷 晴	qyin@mail.doshisha.ac.jp
サマープログラム・スペイン語 （コスタリカ・ラテン大学）	清水 達也	tshimizu@mail.doshisha.ac.jp

・過年度のサマープログラム・初修の参加者による「アンケート」および「留学体験記」は、Go Global Portfolio 上に掲載していますので、参考情報としてご活用ください。

《https://sso.doshisha.ac.jp/→ WEB Single Sign-On→ Go Global Portfolio→短期留学プログラム→留学体験記・アンケート》

★出願受付

■出願受付期間
2026 年 1 月 22 日(木)9:00 ～ 2026 年 2 月 6 日(金)17:00 ※時間厳守
WEB“Go Global Portfolio”にて出願を受け付けます。下記の URL にアクセスしてください。

https://sso.doshisha.ac.jp/ → Web Single Sign-On → Go Global Portfolio→ 短期留学プログラム→ WEB 出願→ 2026 サマープログラム初修（追加） →『出願する』ボタンクリック
※手順は P.9 “【短期留学】WEB 出願” 参照

■WEB 出願の注意点
・願書・志望理由書は Go Global Portfolio から提出すること。窓口での出願は一切認めません。
・締切前はアクセスが集中しサイトに繋がりにくくなる恐れがあるので余裕をもって出願すること。
・一定時間を過ぎるとタイムアウトするのでこまめに保存すること。
・入力内容や出願書類に不備があった場合は、出願期間中に訂正すること。
・【ドイツ語】出願者は、「備考（資格等）」欄に、希望のコース（初級コース or 中級コース）を入力すること。
・【フランス語】出願者は、「備考（資格等）」欄に、ステイ先（学生寮 or ホームステイ）の希望を入力すること。
・【スペイン語】出願者は、「備考（資格等）」欄に、パスポートの有効期限を入力すること。
※有効期限が<2026 年 9 月 3 日以前>の場合、もしくはパスポートを所持していない場合は、
必ず出願前に国際課に相談すること。

・面接試験の実施日時に、授業や大学主催の試験等がある場合は、WEB 出願の願書フォームの「基本情報入力」画面内、「備考（資格等）」欄に校地・講時・授業科目名（試験名）を必ず入力すること。
（サークルや課外活動、個人的な事情は入力されても配慮いたしません。）

■提出書類
・WEB 出願書類：① 願書　②志望理由書（プログラムごとにテーマが異なるため以下参照のこと）

ドイツ語　初級と中級の 2 つのコースを設けています。
希望のコースを「備考欄（資格等）」に入力の上、希望するコースのテーマ・書式で志望理由書を入力する事。

【初級コース】
テーマ：サマープログラムに参加希望する理由
書　式：日本語で 1,000 字以内

【中級コース】
テーマ：ドイツ語を学習する理由
書　式：ドイツ語で 200～400words
※1,000 字以内

フランス語　テーマ：フランス語サマープログラムに参加する志望動機と目的・目標について具体的に書いてください。
書　式：日本語（英語でも可）で 1,000 字以内

中国語　テーマ：あなたが中国で語学研修を受けてみたいと思った志望動機は何ですか。また、中国への関心は何ですか。あなたの考えを具体的に書いてください。
書　式：日本語で1,000字以内

スペイン語　テーマ：私のスペイン語・コスタリカ（またはラテンアメリカ）への関心
書　式：日本語で1,000字以内

★選考試験と結果発表

選考は面接試験により行います。選考試験と結果発表の日程は以下の通りです。

■面接選考試験
日程：

スペイン語：2026 年 2 月 10 日（火）18:00～【オンラインで順次実施】
フランス語：2026 年 2 月 12 日（木）13:30～【オンラインで順次実施】
中国語 B：2026 年 2 月 12 日（木）15:30～【オンラインで順次実施】
ドイツ語 B：2026 年 2 月 13 日（金）13:30～【オンラインで順次実施】

・接続 URL・パスワード、面接開始時間については、スペイン語は 2 月 9 日（月）、それ以外は 2 月 10 日（火）13:00 より、Go Global Portfolio 内“お知らせ”にて確認してください。
・面接終了時刻は出願者数によって前後するため未定です。

■結果発表
日程：2026 年 2 月 16 日（月）13:00～
・Go Global Portfolio 内“お知らせ”にて合否を確認してください。

★費用納入

参加費用の納入は数回に分けて行いますが、具体的な納入金額と期限は参加決定者へ別途連絡いたします。あらかじめ保護者の方と費用や支払い方法について十分ご相談の上、出願してください。
※プログラム費用の変動を考慮し、納入いただく参加費用にはあらかじめ数万円の予備費を含んでいます。（プログラム終了後に精算し、実費が徴収額を下回った場合は差額を返金します。）

★出発前　危機管理オリエンテーション

プログラムの参加者は、出発前の危機管理オリエンテーションに必ず出席する必要があります。
オリエンテーションに適切な理由なく欠席した場合は、プログラムの参加を認めないことがあり、この際に生じるキャンセル費用は参加者本人の負担となります。

日時：2026 年6月下旬～7月初旬のいずれかの日曜日／午後(4～5時間程度)

場所：今出川校地（教室は決定次第連絡します）

★奨学金について

本学には以下の奨学金が設けられています。詳細は参加が決まった方へ改めてお知らせします。

■「サマープログラム履修者に対する奨学金」
履修したサマープログラムの費用に対し、奨学金（50,000 円）が給付（返還不要）されます。

★科目登録について

選考試験合格者の科目登録は大学側で一括登録するため登録手続は不要です。
※科目履修・単位の取扱い等の詳細については、各自で所属学部事務室に確認してください。

★事前授業について

科目登録上の開講年度・学期は「2026 年度・春学期」、事前授業は 2026 年度春学期に実施されます。

※事前授業には必ず出席すること。体調不良、やむを得ない事情により欠席の場合は必ず担当教員に事前連絡をしてください。事前連絡なく欠席した場合はプログラムへの参加を取り消される場合がありますので、予めご了承ください。また、この際に発生するキャンセル費用は参加学生本人の負担となります。

※2026 年度の科目登録の際、サマープログラム・初修の事前授業と他の春学期科目が時間割重複、および二校地間移動不可が発生しないかを十分に確認してください。
事前授業の開講校地、曜日講時は、本募集要項の各プログラムのページ、シラバス等で確認してください。

事前授業と 2026 年度春学期の登録科目が時間割重複（二校地間移動不可を含む）した場合、事前授業以外の時間割重複した科目は履修できません。（二校地間移動不可は、例えば、事前授業が京田辺校地・金曜日 6 講時に実施される場合、今出川校地の金曜日 5 講時、6 講時、7 講時（該当の講時と前後の講時）の授業は履修できませんのでご注意ください。）
なお、サマープログラム・初修外国語のみ、各言語 1 プログラムの開講であることから、必修科目に限り、やむを得ず二校地間移動不可が発生する合格者がいた場合のみ、事前授業を受講できるように調整します。状況によっては対応が難しい場合がありますので、必修科目と事前授業が二校地間移動不可となる場合、速やかに全学共通教養教育センター事務室に相談してください。時間割が完全に重複している場合は対応できません。必修科目との重複によりサマープログラムをキャンセルする場合に生じるキャンセル費用は参加学生本人の負担となります。

★出願に当たっての注意事項

① グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は母語で実施されるプログラムに、中国語コース生は中国語のプログラムに出願できません。

② 国際教育インスティテュート国際教養コース生は、サマープログラム・初修外国語（母語を除く）のプログラムへの出願は可能です。

③ 2026 年度ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラムの合格者は、今回のサマープログラム・初修に出願できません。

④ セメスタープログラム・英語Ⅰ、Ⅱの合格者は、今回のサマープログラム・初修に出願できません。

⑤ 過去に合格評価を得た科目については、クラスや渡航先が異なっていても再度履修することはできません。

⑥ サマープログラム・初修の合格者は、他の渡航を伴う科目のうち、合格したプログラムの事前・事後授業、及び現地研修との時間割重複、または二校地間移動不可が発生する科目への出願はできません。（例：ヨーロピアン・スタディーズ EU キャンパスプログラム、全学共通教養教育科目（国際教養科目）の「Freshman“Go Global”Program」、「Mid-college “Be Strong” Program」など）

⑦ サマープログラム・初修の科目登録上の開講年度・学期は「2026 年度春学期」ですが、成績の付与は 2026 年度秋学期末です。そのため、再修生（5年次生以上）で 2026 年度春学期（2026 年9月）卒業見込の方は出願できません。

⑧ 出願後のキャンセルは原則認めません。参加について十分に考慮し、保護者の方とよく相談した上で出願してください。参加決定後にキャンセルをされた場合、費用の払い戻しは行われません。（費用納入前であっても、キャンセルに伴う費用を納入いただきます）

⑨ 合格者数が最少催行人員に満たなかった場合、プログラムは実施されない可能性があります。参加者決定後、キャンセルにより最少催行人員を下回り、プログラムの開催が不可能となった場合も同様です。

⑩ プログラム出発前に、外務省の海外安全ホームページにて発表される危険情報または感染症危険情報「レベル 2：不要不急の渡航は止めてください。」もしくはそれ以上が発出された場合、プログラムが中止となることがあります。その場合でも、納入いただいたプログラム参加費用の一部または全額をお返しできないことがあります。また、プログラム開始後であっても大学長による帰国勧告等が出された場合は帰国しなければなりません。あらかじめご了承ください。
※外務省海外安全ホームページ<https://www.anzen.mofa.go.jp/masters/risk.html>

⑪ VISA や入国許可 電子渡航認証（ETA 等）が取得できなかった場合はプログラムに参加できません。その場合、納入いただいたプログラム参加費用の一部または全額をお返しできないことがあります。

⑫ 渡航先での休日について、個人旅行を行う際には十分注意してください。ただし、国外旅行・宿泊を要する旅行は禁止とします。詳しくは誓約書を確認してください。

⑬ 今後の世界情勢や為替レート、またスケジュールや参加人数の変更、航空運賃の高騰や感染対策などさまざまな要因により、参加費用が変動する可能性があります。事情により金額不足が生じた場合は不足分を追加徴収します。逆に、実費が徴収した参加費用を下回った場合は差額を返金します。

⑭ 参加が決定した方は、同志社大学での事前授業と国際センター国際課が開催する危機管理オリエンテーションに必ず出席する必要があります。欠席した場合、プログラムに参加できなくなることがありますのでご注意ください。その際発生するキャンセル料はご自身の負担となります。

⑮ 留学開始時の学年によっては、留学期間と就職活動の時期が重複する可能性があります。十分に考慮したうえで出願してください。

⑯ プログラムごとに参加者の中からリーダー・サブリーダーを選び、出発・帰国に際しては、参加者全員で団体行動をとります。単独行動は認められません。

⑰ 参加にあたっては、参加者が本学に提出する誓約書による誓約事項を厳守いただきます。
7 ページおよび 8 ページの誓約内容を保証人（主に父母）の方にも共有し、事前の確認・了承した上でプログラムへの申し込みをしてください。（誓約書はプログラム参加決定後にご提出いただきますので、出願時の提出は不要です。）

⑱ プログラムへの参加が決まった方は、健康診断の受診が必要です。
2026 年 3 月下旬～4 月上旬に学内で実施される定期健康診断を、必ず受診してください。
※大学で行っている健康診断を受診する場合は、保健センターと連携し情報収集が可能なため、健康診断証明書の提出は不要となります。
※やむを得ず学内の健康診断が受診できない場合、あるいは保健センターと連携した情報収集を希望されない場合は、外部の医療機関等で健康診断を受けたうえで、健康診断証明書を提出してください。その際の予約、健康診断証明書の発行はご自身で手配することになり、費用もご自身で負担いただきます。
必要な受診項目は【身長・体重・視力・X線検査（胸部X線）・既往症・備考】です。（様式は医療機関独自のもので構いません）

⑲ 医薬品や医療器具を留学先に持参する場合、渡航先の国によって入国時の持ち込み規定が異なります。
持病などで一定量の処方薬等の持ち込みを予定されている方は、厚生労働省や渡航先国の駐日外国公館の Web サイトなどを事前に確認し、持ち込みが可能な薬であるかどうか確認した上で出願してください。
英文の診断書や処方箋、薬剤証明書等を準備することも有効ですので、出願前にかかりつけ医等にご相談されることを強くお薦めします。
※厚生労働省―海外渡航先への医薬品の携帯による持ち込み・持ち出しの手続きについて
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/index_00005.html

★研修先機関で特別な配慮・支援が必要な場合は、事前に国際課にご相談ください。

「同志社大学サマープログラム」に関する誓約書

同志社大学長殿

私は、2026 年度同志社大学サマープログラム（以下、プログラムという。）に参加するにあたり、次の事項を誓約いたします。なお、誓約事項に反した場合は、プログラム参加学生の資格を取り消されることや、同志社大学（以下、本学という。）のサポートを受けられないことを承諾し、異議の申し立てはいたしません。

＜留学に対する心構え＞

1.プログラムの趣旨を十分理解し、研修先機関にて学業に精励すること。
2.プログラム参加決定後は本学が正当と認める理由以外での辞退は不可のため、十分理解のうえ参加すること。
3.渡航前に本学で実施される事前授業やオリエンテーション、説明会へ適切な理由無く欠席することや、課せられた課題・義務の履行を怠った場合にはプログラムへの参加を認めないことがあり、この際に生じるキャンセル費用は、参加学生本人の負担となること。
4.プログラムに伴う渡航期間中は、滞在国および日本の法令、本学の学則等諸規則を遵守するとともに、研修先機関の定める規則、指導教員、担当者等の指示に従い、滞在国の公序良俗に反することのないよう注意すること。
5.プログラム期間中は、本学の学生として本人の自覚と責任において行動すること。なお、プログラムに伴う渡航期間中、災害、暴動、テロ、ストライキ、事故、感染症、疾病、犯罪などによる損害が発生した場合でも、本学に一切責任を問わないこと。
6.プログラム参加にあたっては、必ず本学指定の飛行機で渡航・帰国し、参加者全員での団体行動をとること。本学の責に帰さざる理由によって指定の飛行機に乗れず、それに伴い追加費用が発生した場合は、参加学生本人の負担となること。

＜手続き＞

7.プログラムに必要な諸手続き（研修先機関に提出する各種書類の作成、パスポートの取得、費用の支払い等）は事前に十分確認し、自らの責任において遅滞なく行うこと。
8.プログラムに際して、出発から帰国までの本学指定の海外旅行傷害保険、研修先機関指定の健康保険および留学生危機管理サービスに加入すること。
9.プログラムに伴う渡航期間中は必要に応じて、本学国際センター国際課への現地到着報告、近況報告等を行い、帰国後は速やかに指定された報告書・アンケート等を提出すること。

＜プログラムの中止・変更＞

10.研修先機関が所在する国（地域）の治安の悪化、災害、感染症等の発生状況によっては、本学及び研修先機関等の判断において、プログラムの中止または帰国勧告等を決定することがある。これらの事態等が生じる可能性を理解し、本学の指示に速やかに従うこと。また、これらの事態により発生する損害・負担について本学に一切請求をおこなわないこと。

＜危機管理＞

11.プログラムに伴う渡航期間中は、自動車・バイクの運転、また海外旅行保険が適用とならない危険を伴う運動は行わないこと。
12.休日に個人的な旅行をおこなう際にはプログラムの完遂に支障の無いよう十分注意すること。ただし、国外旅行・宿泊を要する旅行は禁止とする。（プログラムの一環として実施する研修旅行を除く。）なお、個人的な旅行は自己責任にておこなうものであることを理解し、当該旅行において支出・損害が発生した場合には自己の責任で解決すること。

＜宿泊先＞

13.プログラムに伴う渡航期間中は、プログラムで定める宿泊先に滞在すること。なお、宿泊先の変更が生じた場合は逐次本学国際センター国際課へ連絡すること。
14.本誓約書別紙の宿泊先に関する注意事項を理解した上、プログラムに参加すること。

＜個人情報の提供＞

15.プログラムの運営や緊急時の対応のために、本学またはプログラム取扱業者へ届け出た学生本人および保証人の個人情報を、本学及び研修先機関（ホームステイ会社等を含む）、プログラム取扱業者、危機管理会社、海外旅行保険取扱業者が利用することに同意すること。
16.プログラムの運営、学生の安全確保、科目の成績評価等のために、研修先機関が取得した学業成績や期間中の生活情報等の個人情報を本学へ提供することに同意すること。また、これらの情報を必要に応じて本学および研修先機関、プログラム取扱業者や危機管理会社が共有することに同意すること。
17.危機管理会社のアシスタンスサービスを利用した際、危機管理会社へ提供した疾病やトラブルに関連する個人情報について、本学や危機管理の関係者に共有・利用されることに同意すること。

＜保証人の同意＞ ※保証人とは、学生が本プログラムを履修するにあたり、本学と連携し、学生を指導、支援する立場の方を指します。
18.本誓約内容及び募集要項の内容を保証人と共に確認し、両者が理解した上で、本プログラムに参加すること。

上記誓約事項を遵守することを誓約します。

学部　　学科　　学生ＩＤ:

署名日:　　年　　月　　日　　学生署名:

学生が上記誓約事項を遵守することを保証します。

署名日:　　年　　月　　日　　保証人署名:

（いずれも直筆でご署名下さい。）

プログラム名:

署名欄

以　上

宿泊先に関する注意事項

＜プログラムの宿泊先について＞

・宿泊先の種類（ホームステイ、大学寮、ホテル等）は、プログラムの内容や研修先大学によって異なる（詳細は募集要項のプログラム別説明で確認すること）。
・参加決定後、宿泊先や部屋の種類の希望（寮 or ホームステイ、一人部屋 or 二人部屋 等）を回答できる場合も、希望通りにはならない場合や、決定後も諸事情により変更になる場合がある。

＜ホームステイに関する注意事項＞

・滞在中は「ゲスト（お客様）」としてふるまうのではなく、家族の一員として各家庭のハウスルールを守り、ホストファミリーとコミュニケーションをよくとり生活を共にすること。
・ホストファミリーの家庭環境やライフスタイルは画一的ではなく、家族構成（ホストが高齢、高齢の家族がいる、父子家庭、母子家庭、同性婚、幼児がいる、同世代の異性の子供がいる、共働き、一人暮らし等々）、人種、食事（手作り、冷凍食品、参加者自身でホストファミリーが用意した食材で自炊）、自宅設備の新旧、大学までの通学距離は様々であること。また、これらを理由にホストファミリーを変更することは原則できないこと。
・ホームステイ申込時に、希望の家庭環境（幼児やペットの有無等）について記入できる場合も、必ずしも希望通りにはならない場合があること。
・同じプログラムに参加する同志社大学の学生や、他の日本人、他の国からの学生と同じホームステイ先になる場合があること（ベッドルームは一人一部屋確保される）。
・ホストファミリーの事情（急用、病気等）によりホームステイ先が出発前、滞在中にも変更となる場合があること。

＜大学寮に関する注意事項＞

・寮の築年数や部屋の大きさ、形、設備、大学からの距離は、寮によって異なること。
・寮、部屋の割り振りは、研修先到着日に割り振られる場合が多いこと。
・ルームメイトの国籍は様々であること（ルームメイトは同性）。
・フラットメイト（ベッドルームは別で、キッチン・バスルーム等の共有部分を共同で使う学生）の国籍、及び性別は様々で、異性と共有部分をシェアして暮らす場合があること。
・食事は原則提供されないこと。［自己負担］
・日用品（食器・調理器具・リネン類・タオル類・洗濯用品等）は持参するか現地で購入する等、各自準備する必要があること。［自己負担］
・各寮の取り決めに従って生活を送らなければいけないこと（門限、禁煙、掃除・洗濯のルール、防火等々）。
・現地の方との交流は、自ら積極的に行う必要があること。

＜ホテル滞在に関する注意事項＞

・研修先大学がホームステイ・寮の手配を行わない場合、本学提携の旅行会社等が手配した中・長期滞在型のホテルに滞在する場合があること。なお、行程により一時的にホテル滞在を含むプログラムもある。
・部屋割りの希望は、受け付けられない場合があること。
・食事は原則提供されないこと。［自己負担］
・ホテルからの提供がない日用品（食器・調理器具・洗濯用品等）は持参するか現地で購入する等、各自準備する必要があること。［自己負担］
・ホテルの取り決めに従って生活を送らなければいけないこと（禁煙、掃除・洗濯のルール、防火等）。
・現地の方との交流は、自ら積極的に行う必要があること。

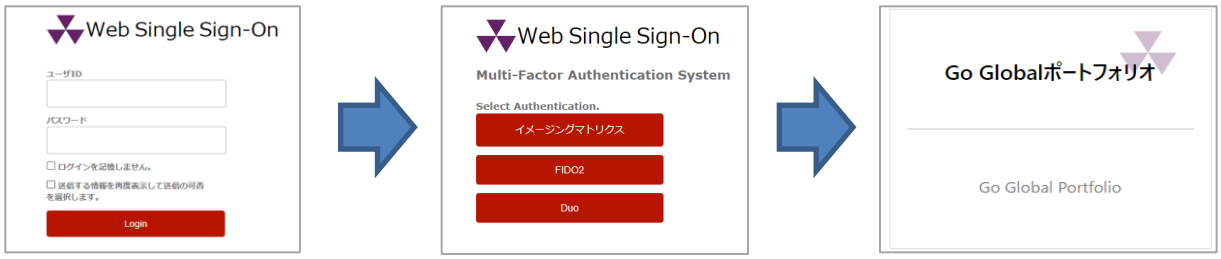
＜「学校において予防すべき感染症」に罹患した場合の注意事項＞

・研修期間中に「学校において予防すべき感染症」（新型コロナウイルス感染症等）に罹患した場合、研修先や滞在国等の方針、または本学の判断により自主隔離等を求めることがあり、その指示に従うこと。
・宿泊先の寮やホテル等の空室状況により、自主隔離は別途外部の宿泊施設等を利用することがあること。
・自主隔離に伴う追加費用（原則として海外旅行保険適用外となる）が発生した場合は、プログラム費用には含まれないこと。［自己負担］

【短期留学】WEB出願

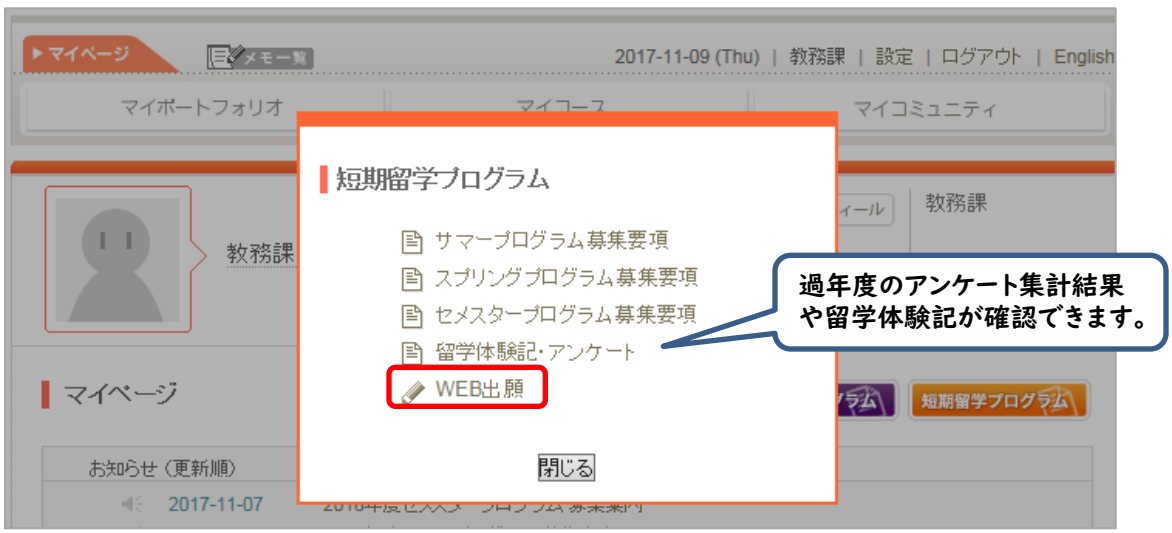
※注意：スマートフォンでは正しく動作しないため、必ずPCで出願をしてください。

①「Go Global Portfolioシステム」へログイン（https://sso.doshisha.ac.jpにアクセス）
※ユーザーID/パスワード ：「ユーザID通知書」に記載の「ユーザID/PASSWORD」を参照



②【出願前】「短期留学プログラム」をクリック

③【出願前】「WEB出願」をクリック

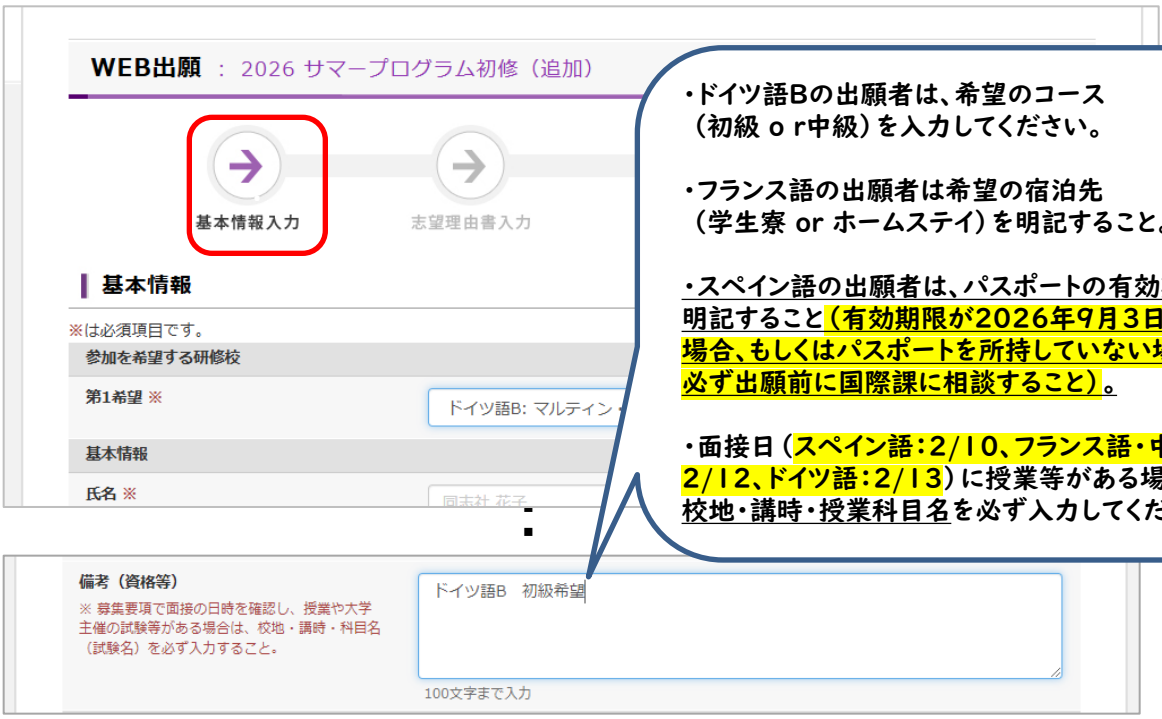


④【出願前】「短期留学プログラムWEB出願TOPページ」

「出願日程」→「2026サマープログラム・初修（追加）」→「出願する」をクリック

サマープログラム・初修

⑤【出願中】 基本情報を入力の上、「次へ」をクリック

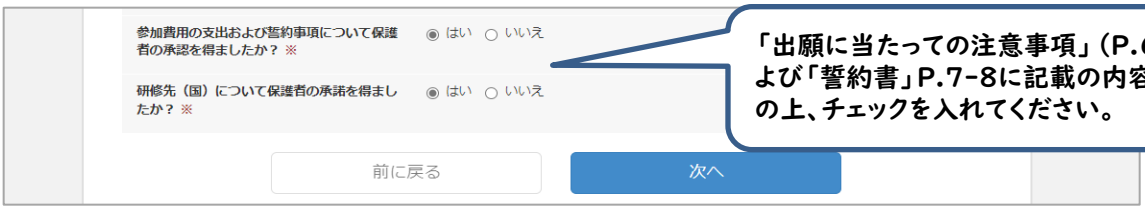


・ドイツ語Bの出願者は、希望のコース（初級 o r中級）を入力してください。

・フランス語の出願者は希望の宿泊先（学生寮 or ホームステイ）を明記すること。

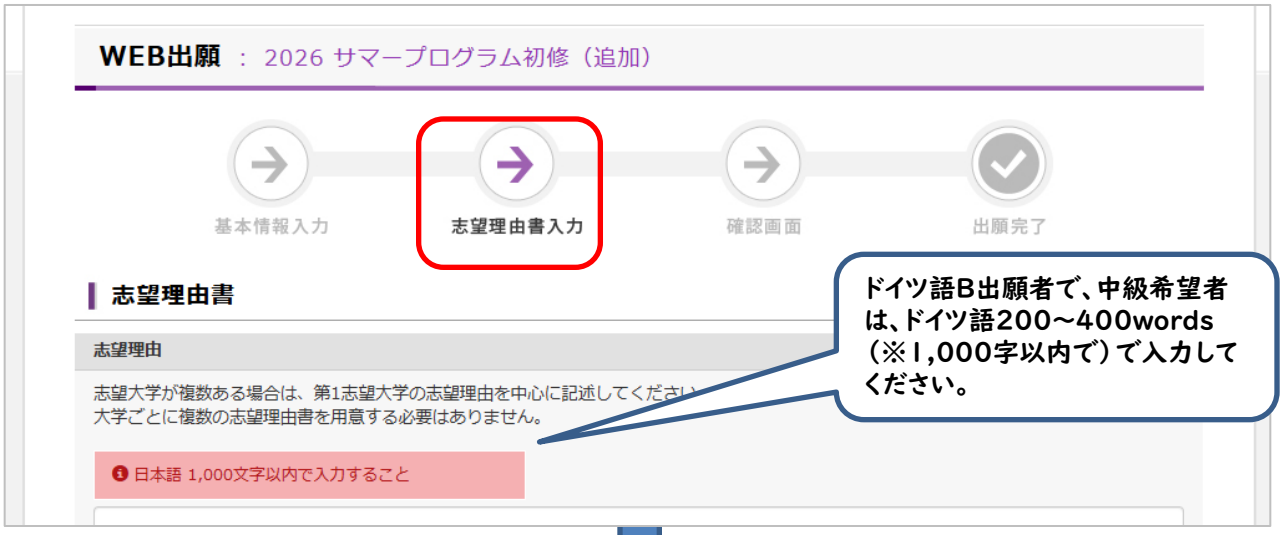
・スペイン語の出願者は、パスポートの有効期限を明記すること（有効期限が2026年9月3日以前の場合、もしくはパスポートを所持していない場合は、必ず出願前に国際課に相談すること）。

・面接日（スペイン語：2/10、フランス語・中国語：2/12、ドイツ語：2/13）に授業等がある場合は、校地・講時・授業科目名を必ず入力してください。



「出願に当たっての注意事項」（P.6）⑰および「誓約書」P.7-8に記載の内容を確認の上、チェックを入れてください。

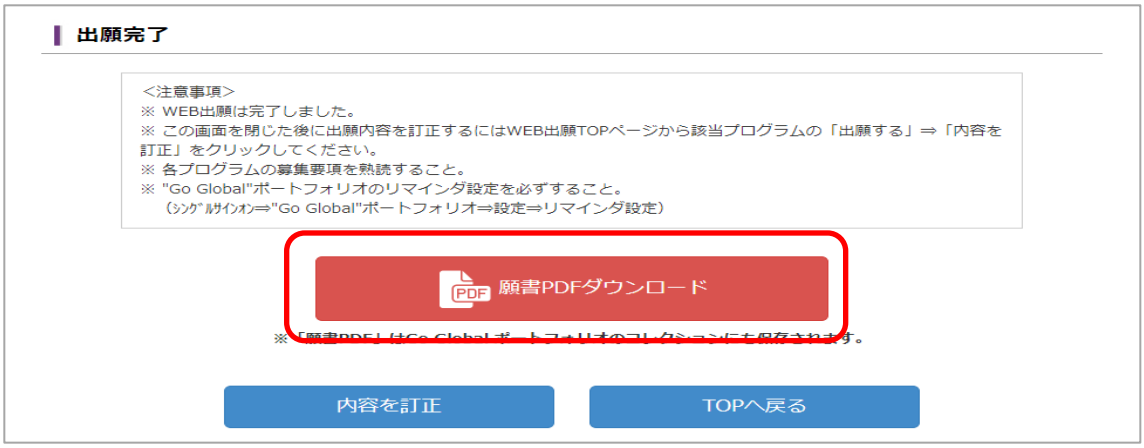
⑥【出願中】 志望理由書を入力し、「確認」をクリック



ドイツ語B出願者で、中級希望者は、ドイツ語200～400words（※1,000字以内で）で入力してください。

⑦【出願中】「＜確認用＞願書PDFプレビュー」より自身の願書の最終チェックをし、
問題がなければ「出願する」をクリック

⑧【出願後】出願した後も「願書PDFダウンロード」から自身の願書のチェックができます。
「内容を訂正」から出願期間中であれば内容の修正もできます。
※CASEC受験要領（英語のみ）・面接集合時間・合否発表等は“Go Global Portfolio”のお知らせにアップします。



⑨【出願後】出願した後は“Go Global Portfolio” の「マイポートフォリオ」にも願書が保存されます。
自分の出願したプログラムの「分類」に保存されているか確認しましょう。

ドイツ

サマープログラム・ドイツ語B
マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク

期間：2026 年 8 月 1 日（土）～ 8 月 28 日（金）【予定】

プログラム定員：約 20 名

参加費用（1名）：　**約 830,000 円（予定）**

※今後の世界情勢や為替、参加人数により参加費用は変動する可能性があります。
※上記参加費に対し、別途、大学から奨学金が支給されます。

プログラム紹介

プログラムの目的

サマープログラム・ドイツ語 B は、同志社大学のカリキュラムに沿ってマルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルクの初級者向けの集中コースおよび中級者向けの国際サマーアカデミーを利用する夏期研修講座です。世界各地から集まった学生たちに囲まれながら、ドイツ語でのコミュニケーションを訓練しつつ、約3週間の日程でドイツ語・ドイツ文化、そしてヨーロッパ文化をさらに深く学ぶことができます。ドイツ東部に位置する自然豊かなヴィッテンベルクは、いわば純粋なドイツの姿が残された大学都市です。また、ヴィッテンベルク大学教授であったマルティン・ルターが『95か条の論題』を提示し、宗教改革の端緒が開かれた地でもあります。ベルリン、ライプチヒ、デッサウ、マクデブルクなど、ドイツ史の重要な舞台となった都市も近隣にあり、ドイツ文化を多層的に経験できます。

日　程（変更の可能性あり）

8/1	関西国際空港出発 機中泊
8/2	イスタンブール経由→ベルリン空港到着後、ヴィッテンベルクへ移動 ホームステイ泊
8/3 ～ 8/26	マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルクのサマープログラムに参加 ホームステイ泊
8/27	ヴィッテンベルクからベルリン空港へ移動 ベルリンより日本へ出発（イスタンブール経由）
8/28	関西国際空港到着 ※到着後、解散

募　集　要　項

科目名	**サマープログラム・ドイツ語 B** ※春学期科 3 単位（科目・単位の取り扱いについては所属学部へ問い合わせること） ※本プログラムは春学期科目ですが、帰国後のレポート等を含めて秋学期に総合的に成績評価を行います。
担当教員	**髙木 繁光**
事前授業	**事前授業：今出川にて火曜・6 限に 3 回実施。** **≪事前授業には必ず出席のこと≫** **☆事前授業の詳細は、参加者決定後の連絡やシラバスを確認すること。** ※本プログラムの参加者は上記および国際課主催のオリエンテーション（7 月初旬に今出川校地で実施予定）に出席する必要があります
日程	2026 年 8 月 1 日（土）～8 月 28 日（金）
定員	約 20 名（最少催行人員：1 名）
対象	学部学生 ※国籍は問いません。 ※初級コースを希望する学生は、インテンシヴⅠ・Ⅱあるいは入門Ⅰ・Ⅱを履修していること。または CEFR の A1～A2 に準じる語学力を有していること。 ※中級コースを希望する学生は CEFR の B1 以上ないしそれに準じる語学力を有していること。
プログラム構成	日本国内の他大学及び世界各国の学生も参加します。
研修内容 **※研修内容に多少の変更が生じる可能性があります。**	■授業時間：月曜日～金曜日　9:00～14:30 ■クラスのレベル・人数：初級～中級（CEFR の A1～B1）、約 7～15 名／1 クラス ■授業は、「ドイツ語」と「音声指導」「ドイツの文化と社会」からなり、すべてドイツ語で行われます。授業後の文化、スポーツプログラム、週末の見学旅行や遠足など、豊富なプログラムが用意されています。
宿泊先	ホームステイ

食事	1 日 2 食（朝・夕） ※ホームステイ先でとる食事以外は含まれません。
同行員	**プログラム担当教員や添乗員は同行しません。**
参加費用	**●含まれるもの** 学費・教材費／宿泊費／往復航空券（旅費）／航空保険料・燃油費／日本・現地空港諸税／プログラムに含まれる研修旅行にかかる費用／海外旅行保険料（大学指定の保険に加入します） **●含まれないもの** ※上記のほかは含まれません。参考のためにその一部を例示します。 超過手荷物料金／日本国内での移動にかかる交通費／宿泊費用に含まれない分の食費／その他個人的生活諸費用（全員での移動時等を除く現地での交通費など） ※研修中の昼食、自由行動中の経費、通信費などが別途かかるため、参加費用以外に現地研修中に 10～15 万円程度準備する必要があります。
費用の支払い	参加決定後の案内に基づき、数回に分割して、指定の期日までに納入していただきます。納入方法等の詳細は参加決定後にご案内いたします。
査証	日本国籍である場合は必要なし。外国籍の学生は各自で確認をし、取得していただきます。

WEB 出願に必要な書類

【初級コース希望者】
・願　　書：サマープログラム初修
・志望理由書：「サマープログラムに参加希望する理由」
（日本語で 1,000 字以内）

【中級コース希望者】
・願　　書：サマープログラム初修
・志望理由書：「ドイツ語を学習する理由」
（ドイツ語で 200～400words　※1,000 字以内で）

フランス

サマープログラム・フランス語
マリー・エ・ルイ・パストゥール大学

期間：2026 年 7 月 31 日（金）～8 月 30 日（日）

プログラム定員：約 25 名

参加費用（1 名）：　《予定額》

約 850,000 円（ホームステイ）/ 約 790,000 円（寮）

※今後の世界情勢や為替、また参加人数により参加費用は変動する可能性があります。

※上記参加費に対し、別途 大学から奨学金が支給されます。

プログラム紹介

プログラムの概要・目的

サマープログラム・フランス語は、同志社大学の教育方針に基づき、フランスの国立マリー・エ・ルイ・パストゥール大学の協力を得て実施する夏期語学研修講座です。スイス国境に近いフランシュ=コンテの中心都市ブザンソンは時計産業の中心地で、美しい風景に囲まれた優雅な町です。マリー・エ・ルイ・パストゥール大学が行っている外国人のためのフランス語講座は長い伝統につちかわれ、その充実した内容には定評があり、日本政府外務省の外交官研修先として選ばれたこともあります。この恵まれた環境の下で 4 週間にわたる研修を受け、フランス語の運用能力をさらに高めることを目指します。

日　程（変更の可能性あり）

7/31	関西国際空港(23:45)　出発　　<機内泊>
8/1	ジュネーブ空港　到着（ドバイ経由） ※到着後、専用車でブザンソンへ移動 <ホームステイ／学生寮泊>
8/2	自由滞在（研修に向けて準備） <ホームステイ／学生寮泊>
8/3 ↓ 8/28	フランシュ=コンテ大学にて研修 【4 週間】 **(8/14～16 パリ小旅行実施予定※別途料金)** <ホームステイ／学生寮泊>
8/29	ブザンソンからジュネーブ空港へ専用車で移動 ジュネーブ空港　出発　　<機内泊>
8/30	（ドバイ経由）関西国際空港　到着　※到着後、解散

募 集 要 項

科目名	**サマープログラム・フランス語** ※春学期科目 4 単位（科目・単位の取り扱いについては所属学部事務室へ問い合わせること） ※本プログラムは春学期科目ですが、帰国後のレポート等を含めて秋学期に総合的に成績評価を行います。
担当教員	**Mouton Ghislain Philippe Gontrand**
事前授業	①「フランス語」：現地研修でよりよい効果を上げるためには、事前にある程度の語学力、とりわけ聴き取り，話せる能力を磨いておかなければなりません。従って、2 年次生は「インテンシヴⅢ&Ⅳ」「フランス語会話初級」「フランス語会話中級」、3 年次生は「フランス語文化事情」「フランス語表現法」「フランス語会話中級」「フランス語会話上級」等の科目を履修して備えてください。 **②事前授業：全員出席必須（4 月～7 月に 5 回程度、木曜6限に京田辺校地で実施）** 研修地紹介・必要書類の提出など、現地へ出かけるまでに必要な準備を整えるために全員に集まってもらう時間です。また、参加者のお互いの顔を知り、交流を深めておくための機会でもあります。フランスの歴史や地理に関する DVD を観たり、個別の相談にも応じます。 **≪事前授業には必ず出席のこと≫** ☆事前授業の詳細は、参加者決定後の連絡やシラバスを確認すること。 **※出発前のオリエンテーション（6 月末～7 月初旬予定）も出席必須。**
日　程	2026 年 7 月 31（金）～ 8 月 30 日（日）
定　員	約 25名（最少催行人員：5 名）
対　象	学部学生　　※国籍は問いません。
プログラム構成	プレイスメントテスト後、レベル別の International クラス(他国の学生と学ぶ)で 4 週間（8/3～8/28）の語学研修プログラムに参加します。 ※8/14～8/16 パリ小旅行実施予定（料金：約 75,000 円） ※参加人数により変更が生じる可能性があります。
研修内容【予定】	■授業時間：月曜日～金曜日（計 92 時間） ■クラスのレベル・人数：初級～上級・約 15名/1 クラス ※必修の「フランス語講座」に加え、自由参加の「アトリエ（講義）」と「学外研修」があり、すべてフランス語で開講されます。 なお、「フランス語講座」は外国人のためのフランス語教育の専門家による集中授業として行われます。
宿泊先	ホームステイ(個室) または 学生寮（個室） ★願書の備考欄に希望のステイ先を記入してください。 ※滞在方法により費用が異なります。 ※学生寮：個室にシャワートイレ付、各階の共同キッチンで自炊となります。
食事	〈ホームステイ〉 朝・夕食の2食付（土日のみ昼食付） 〈学生寮〉食事はつきません
同行員	**・プログラム担当教員が往路を引率予定** **・現地空港～ブザンソン滞在先の移動は日本人アシスタント同行**
参加費用	**■含まれるもの** 学費／ブザンソンの宿泊費／往復航空券／航空保険料・燃油費／日本・現地空港諸税／現地空港～ブザンソン間往復交通費／アシスタント費／海外旅行保険料（大学指定の保険に加入します） **■含まれないもの** ※上記のほかは含まれません。下記はその一部の例です。 超過手荷物料金／日本国内の交通費／通学交通費 等
費用の支払い	参加決定後の案内に基づき、指定の期日までに納入ください。 納入方法・期日等の詳細は参加決定後に案内します。
査証	日本国籍の方は必要なし。外国籍や二重国籍の方は各自で確認してください。

WEB 出願に必要な書類

・願　　書：サマープログラム初修

・志望理由書：フランス語サマープログラムに参加する志望動機と目的・目標について具体的に書いてください。

（日本語［英語も可］で 1,000 字以内）

サマープログラム・中国語B

中 国

北京大学

期間：2026 年 8 月 2（日）～ 8月30 日（日）

プログラム定員：約 20 名

参加費用（1 名）：**約 590,000 円（予定額）**

※為替やプログラム費用等の変更により参加費は変動する可能性があります
※上記参加費に対し、別途、大学から奨学金が支給されます

プログラム紹介

プログラムの目的

サマープログラム・中国語は、同志社大学が教育計画を策定し、北京大学国際合作部留学生オフィス及び対外漢語教育学院の協力を得て実施する夏期中国語研修講座です。北京大学は早くから世界各地からの留学生を受け入れている、中国語教育では定評のある伝統校です。日本からも毎年多くの中国語学習者が同校に留学して、実践的な中国語運用能力を向上させてきました。

北京は、元の時代からの古都であると同時に、中華人民共和国の首都でもあります。経済成長を続ける中国を代表する都市として、発展を続けるとともに、胡同（路地）が生息している古い街並みや数多くの文化遺産が同居しているのがこの都市の魅力です。

授業や課外活動、また中国の人々や他国・他地域からの留学生との交流を通じて、皆さんの中国語力は向上し、中国についての理解もますますでしょう。単なる観光旅行では得られないものが、このプログラムを通じて獲得できます。

日　程（行程は変更の可能性あり）

8/2	関西国際空港出発 北京到着 ※到着後、専用バスにて北京大学へ移動。 近隣の宿泊施設泊
8/3 ↓ 8/29	北京大学サマープログラムに参加 8 月 3 日（月）授業開始 近隣の宿泊施設泊
8/30	専用バスにて空港まで移動、チェックイン 北京出発 関西国際空港到着 ※到着後、解散

募　集　要　項

科目名	**サマープログラム・中国語 B** ※春学期科目 3 単位（科目・単位の取り扱いについては所属学部へ問い合わせること） ※本プログラムは春学期科目ですが、帰国後のレポート等を含めて秋学期に総合的に成績評価を行います。
担当教員	**殷晴**
事前授業	事前授業：事前の講義を火曜 6 限に今出川で数回行います。中国文化事情などに関してレクチャーを行う他、参加者にもテーマを決めて発表してもらう予定です。 **≪事前授業には必ず出席のこと≫** **☆事前授業の詳細は、参加者決定後の連絡やシラバスを確認すること。** **※本プログラムの参加者は、事前授業および国際課主催のオリエンテーション（6 月末~7 月初旬に今出川校地で実施予定）に出席する必要があります。** ※春学期にどの中国語科目を履修するか迷っている参加者は、本プログラム担当教員に相談してください。
日程	2026 年 8 月 2 日（日）～ 8月30 日（日）
定員	約 20 名（最少催行人員：6 名）
対象	学部学生 ※中国国籍の方はご参加頂けません。
プログラム構成	国内外からの他大学の学生と一緒に学ぶ International クラスになります。
研修内容	■授業時間：月～金：50 分×4 コマ／日（8:00 - 12:00）。 4 週間で 80 コマ週 5 回、20 日間実施。 午後にも中国文化に関するプログラムを検討中。 ■研修旅行：別料金で、週末に北京周辺観光（万里の長城）や宿泊を伴う小旅行（大同）など 検討中。
宿泊先	富驛時尚酒店ツイン部屋（暫定） （2 人部屋、朝食なし）
食事	自弁（参加費用には含まれません）。

同行員	**添乗員の同行なし。** 日本語の堪能な現地大学院生、または学部生 1 名が滞在中のサポートを行います。初めの7泊は同宿します。
参加費用	**●含まれるもの** 学費・教材費／宿泊費／往復航空券／航空保険料・燃油費／日本・現地空港諸税／空港～宿泊施設間、移動にかかる費用／海外旅行保険料（大学指定の保険に加入します）／現地アドバイザー諸経費／サポート料／ビザ申請費用 **●含まれないもの** ※上記のほかは含まれません。参考のためにその一部を例示します。 超過手荷物料金／日本国内での移動にかかる交通費／食事代／週末旅行、課外活動、観光費用／その他個人的生活諸費用
費用の支払い	参加決定後の案内にもとづき、2~3 回に分割して、指定の期日までに納入していただきます。納入方法詳細は参加決定後にご案内いたします。
査証	同志社大学から旅行業者を通じてまとめて申請します。
現地で新型コロナウイルスに感染した際の対応	・隔離期間は無し、**欠席した際の特別対応もありません。** ・研修期間中に新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、研修先等の方針に関わらず、自主隔離（外部の宿泊施設等を利用いただく可能性があります）をしていただきます。自主隔離に伴い追加費用が発生した場合には、自費となりますので予めご了承ください。

WEB 出願に必要な書類

・願　　書：サマープログラム初修
・志望理由書：あなたが中国で語学研修を受けてみたいと思った志望動機は何ですか。また、中国への関心は何ですか。あなたの考えを具体的に書いてください。
（日本語で 1,000 字以内）

サマープログラム・スペイン語

コスタリカ・ラテン大学

コスタリカ

期間（予定）：2026 年 8 月 1 日（土）～ 8 月 31 日（月）

プログラム定員：約 20 名（最少催行人数 8 名）

参加費用（1 名）：**約 1,100,000 円**（予定額）

※今後の世界情勢や為替、参加者人数により参加費用が 5～15 万円前後変動する可能性があります。
※上記参加費に対し、別途、大学から奨学金が支給されます。

プログラム紹介

プログラムの目的

サマープログラム・スペイン語は、同志社大学の教育計画のもと、コスタリカのラテン大学（Universidad Latina de Costa Rica）の協力を得て実施する夏期研修講座です。研修地であるコスタリカは、中米では政治的・経済的に最も安定しており、生活水準も高い国です。軍隊をもたない国として知られているほか、コーヒーやバナナの生産と輸出が盛んです。近年は半導体やバイオテクノロジー関連の産業が発展しています。環境保全に積極的に取り組んでいて、エコツーリズムが盛んな国です。

4 週間の語学研修によってスペイン語の力を伸ばすとともに、教室外での実地研修を通して、コスタリカの政治、経済、社会、文化などについても理解を深めます。

日 程（変更の可能性あり）

8/1	関西圏空港出発 17:55（機中泊、乗り継ぎあり） 《乗り換え ロサンゼルス空港経由》 サンホセ空港到着 23:30 到着後、マイクロバスでサンホセ市内の学生寮へ移動 <学生寮泊>
8/2	フリータイム <学生寮泊>
8/3～28	ラテン大学での授業期間 <学生寮泊>
8/29	フリータイム 夜にマイクロバスでサンホセ空港へ移動
8/30	サンセホ空港出発（機中泊、乗り継ぎ：ロサンゼルス空港）
8/31	関西圏空港到着 18:45 頃 到着後、解散

募 集 要 項

科目名	**サマープログラム・スペイン語** ※春学期科目 4 単位（科目・単位の取り扱いについては所属学部事務室へ問い合わせること） ※本プログラムは春学期科目ですが、事前授業への出席を含めて秋学期に総合的に成績評価を行います。
担当教員	**清水達也**
事前授業	2026 年春学期に、コスタリカを中心としたラテンアメリカの現地情勢やスペイン語でのコミュニケーションに関する 5 回の事前授業を、今出川にて火曜・6 限に行う。 《事前授業には必ず出席のこと》 ☆事前授業の詳細は、参加者決定後の連絡やシラバスを確認すること。 **※本プログラム参加者は、国際課主催のオリエンテーション（7 月初旬に今出川校地で実施予定）に出席する必要があります。**
日程	2026 年 8 月 1 日（土）～8 月 31 日（月）
定員	約 20 名（最少催行人員：8 名）
対象	学部学生 ※国籍は問いません。 2 年次で参加の場合：1 年次にスペイン語インテンシヴⅠとⅡ、またはスペイン語入門ⅠとⅡを履修し、2 年次春学期にインテンシヴⅢ、または応用 1～4 のいずれかを履修する学生が望ましい。3 年次以上での参加の場合：研修開始時点でインテンシヴⅢ、または応用 1～4 のいずれかを履修済みの学生が望ましい。 ※2026/9/3 以降まで有効なパスポートを所持していること。（2026/9/3 以前の場合は国際課へ要事前相談。）
プログラム構成	同志社大学のための専用クラスです。
研修内容	■授業時間：月曜日～金曜日 8:00～12:20、休憩含む ■スペイン語文法、会話、作文の授業を実施。（1 クラス 10 名程度） ■実地研修：週末を利用して、サンホセ市内の博物館訪問、コーヒー農園見学、近郊の自然保護区でのエコツーリズム参加を予定している。 ◎感染症・参加人数の影響で、フィールドワークや小旅行の内容が変更になる可能性もあります。予めご留意ください。

宿泊先	民間学生寮
食事	なし（自炊、大学カフェテリアなど） ※学生寮にキッチンの設備あり。近隣の商店で食材調達可。
同行員	**プログラム担当教員が最初の 1 週間は学生に同行します。**
参加費用	**●含まれるもの** 学費／寮費（清掃費）、／寮保証金／往復航空券／航空保険料・燃油費／日本・現地空港諸税／現地空港～大学間の往復送迎費／実地研修費用／海外旅行保険料（大学指定の保険に加入します）。このうち、寮保証金（約 10 万円）は問題がなければ終了後 75 日程度で返金されます。 **●含まれないもの** ※上記のほかは含まれません。参考のためにその一部を記載します。 ※アラスカ航空区間の受託手荷物料金は、往復ともに現地空港で各自クレジットカード支払いとなります。 料金は、往路$40：復路$42（預け荷物個数 1）／超過手荷物料金／日本国内での移動にかかる交通費／食費／週末ツアー費用／その他個人的生活諸費用
費用の支払い	参加決定後の案内に基づき、2～3 回に分割して、指定の期日までに納入していただきます。納入方法等の詳細は参加決定後にご案内いたします。
査証	日本国籍である場合は必要なし。外国籍や二重国籍の学生については、各自で取得要否を確認し、必要に応じて取得していただきます。
現地で新型コロナウイルスに感染した際の対応	現地でコロナウイルスの陽性となった場合、7 日間の隔離期間があります。 その際はオンライン等での授業のフォローがあります。

WEB 出願に必要な書類

・願　　書：サマープログラム初修
・志望理由書：私のスペイン語・コスタリカ（またはラテンアメリカ）への関心（日本語で 1,000 字以内）